

2021年度決算について(予算との比較)

一般勘定・事業収支決算表

(億円)

区 分	当初予算額	決算額	予算残額
事業収入	6,900	7,009	109増収
受信料	6,714	6,801	87増収
その他の事業収入	186	207	21増収
事業支出	7,130	6,609	521残
国内放送費	3,309	2,967	341
国際放送費	228	205	23
契約収納費	559	486	73
共通管理費	188	162	25
その他の事業支出	2,844	2,788	56
事業収支差金	△ 230	400	630改善

【収入増の理由】

契約件数が想定を上回ったこと等による受信料の増収

87億円

【支出減の理由】

新型コロナウイルス感染症の影響（外的要因）による主な予算残

214億円

- 東京オリンピック・パラリンピック関連経費の減
 - ・事前取材から大会期間中を通じた取材体制の大幅な縮小による取材費の減
 - ・演出内容の見直しによる番組制作費、技術経費、回線料等の減
 - ・大会期間中の関連番組・聖火リレー・イベント展開の中止・規模縮小による減
 - ・定時・特集番組や地域放送展開、ロジスティクス関連業務、中継拠点整備等の減
- 各種スポーツ大会の中止等による放送権料、中継経費の減
- 海外・国内ロケの中止、取材活動・演出内容の見直しによる減
- 国際放送番組の制作費、プロモーション経費の減
- 開催形態の見直しや中止等によるイベント経費の減
- リモートへのシフトによる職員採用・研修経費の減、各種会議開催経費の減 等

経営努力による主な予算残

198億円

- 訪問要員の段階的な縮小による減
- DMの発送数の見直し等、契約・収納活動における構造改革の推進等による減
- 契約見直し等によるスポーツ番組制作費・放送権料の減
- 仕様の精査や計画見直し等によるシステム経費の減 等

設備投資の抑制等に伴う減価償却費の減、効率的な業務運営等による人件費の残

53億円

一般勘定・建設費

(億円)

区 分	当初予算額	決算額	予算残額
建設費	860	656	204残

計画見直しやコスト削減施策、仕様の精査や発注・入札方法の見直し

128億円

- 衛星波・音声波の整理・削減に向けた建設計画の見直し
- 設備のシンプル化・集約化につながる仕様の精査等

新型コロナウイルス感染症や世界的な半導体不足の影響等

36億円